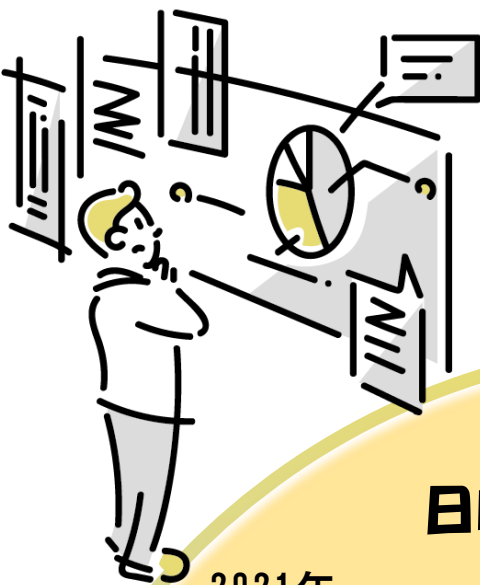


数理データサイエンス・AI教育の必要性と実践



日時

2021年

7月20日(火)

13:00~14:00

講演者

理工学部

齊藤 公明
教授

「確率解析学」の分野においてホワイトノイズ理論の研究をされています。数理・データサイエンスにも関連しています。

対象

学内教職員
非常勤講師
大学院生

方法

Zoomによる
オンライン開催

趣旨

ビッグデータが活用されるようになった結果、日常生活においても、急速に様々なものが「現在進行形で便利になっている」ことを実感している人は、多いのではないのでしょうか。今後の社会においては、この動きがさらに進化していくものと考えられます。

また、この進化により、今後は一般常識及び職業レベルにおいても必要とされる「数理データサイエンス・AI」に関する力の必要性が、より強く叫ばれることになるでしょう。

本学は、現在、数理データサイエンス・AI教育への第一歩を踏み出そうとしています。

【申込方法】

下記URL

もしくは

QRコードから

お申し込みください

<https://is.gd/eFSadU>

お申し込み後、参加方法の詳細が自動メールにより送付されます。



その一歩を踏み出すため、今回は実践経験のある齊藤先生にご講演いただきます。

特に「確率過程とデータサイエンス～時系列データの分析～」は、興味深くご聴講いただけるかと思っておりますので、皆様ぜひご参加ください。

大学教育開発センター

TEL: 052-838-2032 (内線: 2653)



第13回 FD 学習会 「数理・データサイエンス・AI 教育の必要性と実践」 アンケート結果報告について

「第13回 FD 学習会」を実施したため、参加者からのアンケート結果を報告いたします。

【実施概要】

- ・日 時：令和3年7月20日（火）13：00～14：00
- ・場 所：Zoomによるオンライン開催
- ・テ ー マ：数理データサイエンス・AI 教育の必要性と実践
- ・講 師：理工学部 齊藤 公明 教授
- ・参 加 者 数：95人（専任教員72人、非常勤講師0人、事務職員19人、大学院生4人）

【アンケート方法・結果等】

1. アンケート方法：Google フォーム

・質問項目：以下のとおり

- ①所属をお知らせください
- ②本日の内容は、理解できましたか？
- ③本日学んだことを、学部や個人の教育活動に活かしてみたいと感じましたか？
- ④本学習会の満足度について教えてください
- ⑤何が決め手となって、この学習会に申し込みをされたかお聞かせください。
- ⑥テーマ、ご希望の講師（学内外問わず）について、ご意見ご希望がありましたらお聞かせください。

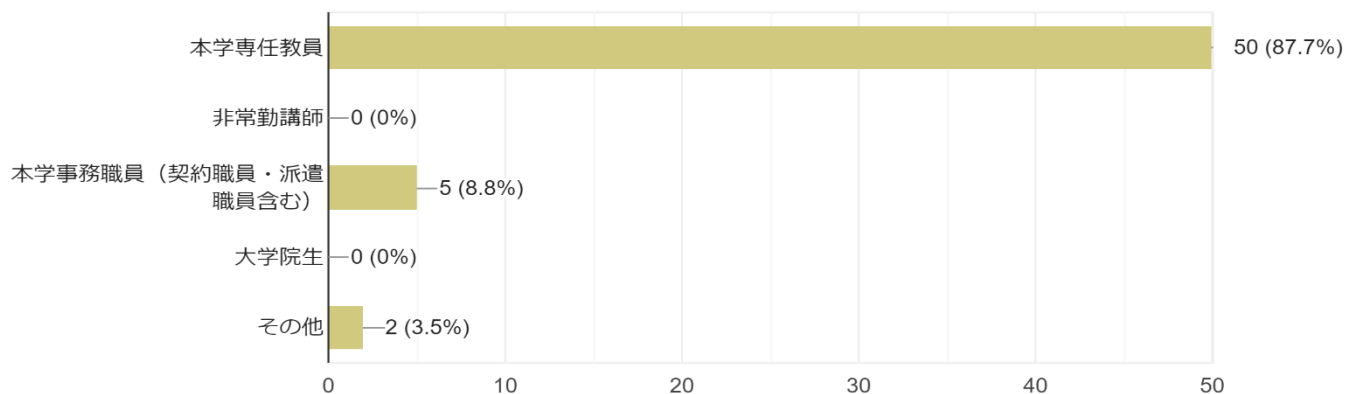
□回答者人数（質問①～④）：57名

□質問⑤、⑥について主な意見のみを示しています。

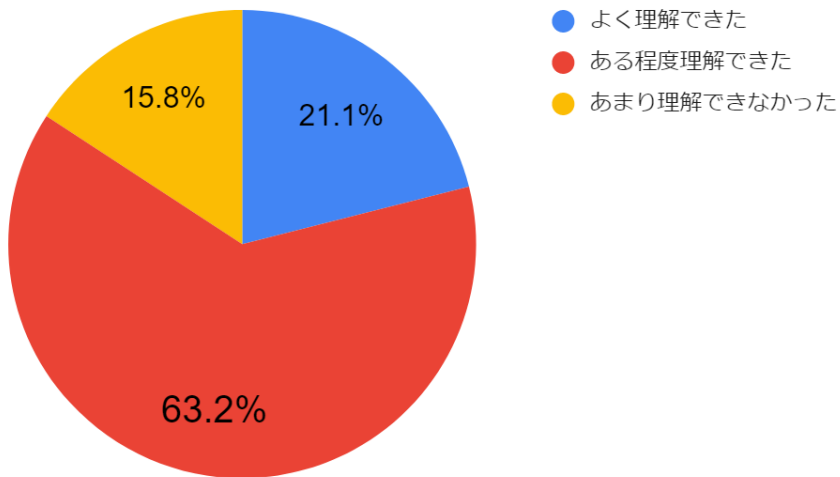
2. アンケート結果：以下のとおり。

①所属をお知らせください。

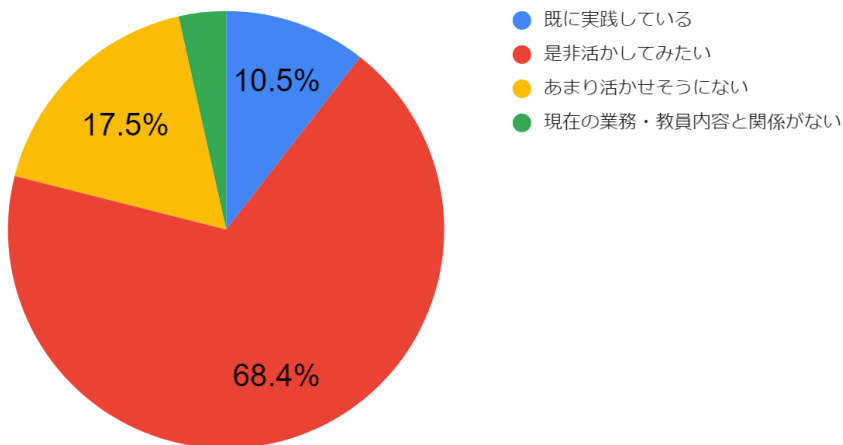
57件の回答



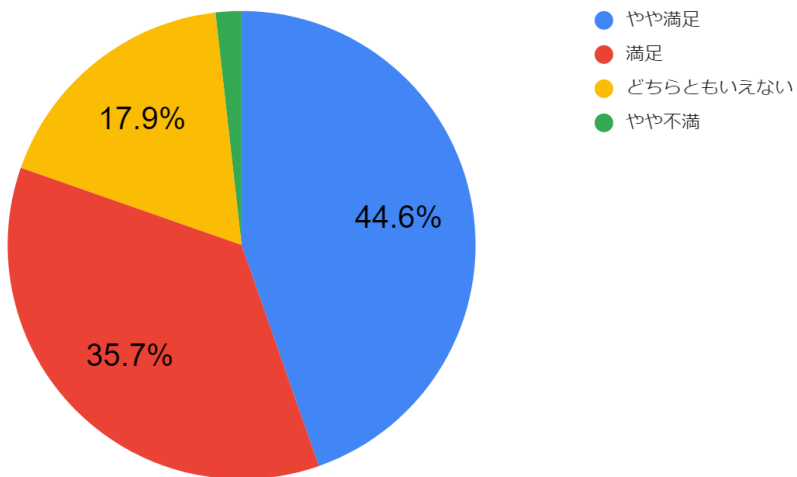
②本日の内容は、理解できましたか？



③本日学んだことを、学部や個人の教育活動に活かしてみたいと感じましたか？



④本学習会の満足度について教えてください



⑤何が決め手となって、この学習会に申し込みをされたかお聞かせください。

- ・データサイエンスを全学で教えることになったので、背景を知りたかった
- ・AI・データサイエンス技術を研究にも利用しており、学生教育にも活用したいと考えているため。
- ・来年度からの情報工学部の科目との関係性を知るため
- ・来年度から始まる全学共通科目として行われるデータサイエンスに関して興味があった。
- ・本学におけるデータサイエンス教育と新学部設置の展望を知りたかった
- ・来年度開講科目の「データサイエンス・AI入門」の一部担当となったため。
- ・色々な分野でデータサイエンスがどのように扱われているのか学びたいと考えて申し込みしました。
- ・数学講究で Deep Learning に関する話題を扱っているため。
- ・数理データサイエンス AI 教育とは何か？がよく分かっていないための情報収集
- ・数理・データサイエンス・AI教育の必要性は以前から強く感じていたため
- ・教員評価のポイントになっている。

⑥テーマ、ご希望の講師（学内外問わず）について、ご意見ご希望がありましたらお聞かせください

- ・データサイエンスについて学内の共同研究を促すような仕組みをつくってもらえるとありがたい。マッチングのような。どの分野でも機械学習が盛んに用いられるようになってきている。短時間でというよりは、合宿形式、1日～2日の集中形式で機械学習の講習会を開いてくださったら、この分野のスキルを研究に活かすことができるし、学内での新たなネットワークも構築できそう。
- ・データサイエンスのビジネス・政策への利活用の状況を知りたいので、実際利活用している会社、国、自治体の関係者に講演していただきたい。
- ・文系学生に対して、いかにデータサイエンスを学ばせるか。
- ・本学は総合大学なので、理系、文系それぞれの立場からデータサイエンスに対する考えを聞いてみたい（文系の方は消極的なのかどうか？）
- ・文系教員としては、果たして学生がデータサイエンス教育にどこまでついていけるのかという不安があります。本学文系と同レベルの他大学の取り組みの状況と困難について、紹介していただくと大変助かります。
- ・他学および高校等の動向等興味深い内容で、大変勉強させていただきました。ありがとうございました。
- ・教員・研究者向けのバイオインフォマティクス講座や研究会の発足など、データサイエンスに関する内容を実施して欲しい
- ・機械学習のみならず、ベイズ推定やゲーム理論に関しても学べる講師がいらっしやると良い

以上